

2019年度日本・韓国青年親善交流事業の概要<第33回>

日本・韓国青年親善交流事業は、1984年(昭和59年)の日韓両国首脳会談における共同声明の趣旨と1985年(昭和60年)の日韓国交正常化20周年を踏まえ、1987年度(昭和62年度)から日本と韓国両国政府が共同して実施している。

日本青年と韓国青年の交流を通じて、青年相互の友好と理解を促進し、日本青年の国際的視野を広げ、国際協力の精神の醸成と国際協力の実践力を向上させることにより、国際社会で指導性を発揮できる青年を育成するとともに、青年による社会貢献活動に寄与することを目的とする。

本事業は、「日本青年韓国派遣」及び「韓国青年日本招へい」により構成する。

1 日本青年韓国派遣

(1)派遣人員

30名(団長1名、副団長2名、渉外2名及び参加青年25名)

(2)派遣時期及び期間(15日間)

2019年9月18日(水)～10月2日(水)の15日間

(3)韓国における活動

- ①文化紹介、ホームステイ等を通じた交流
- ②地球環境問題、産業、文化、教育、社会福祉等の諸事情の研究、関連施設の訪問
- ③韓国青年との合宿ディスカッション・プログラム

(4)研修

- ①事前研修:5日間(2019年7月2日(火)～6日(土))
- ②出発前研修:2日間(2019年9月16日(月)、17日(火))
- ③帰国後研修:2日間(2019年10月3日(木)、4日(金))

2 韓国青年日本招へい

(1)招へい人員

30名(団長1名、副団長2名、通訳3名及び参加青年24名)

(2)招へい時期及び期間(15日間)

2019年7月23日(火)～8月6日(火)の15日間

(3)日本国内における活動

①中央プログラム(7/23～28、8/5～6)

日韓青年親善交流のつどい(7/26～28)、課題別視察、表敬訪問等

②地方プログラム(7/28～8/4)

日本青年との交流、ディスカッション、課題別視察、ホームステイ等

・岐阜県(7/28～8/1)→三重県(8/1～8/4)

※三重県では、2泊3日のホームステイを行う。